

第9次中期経営計画

(2025年4月1日～2028年3月31日)

ACCESS

日本アクセス

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこの配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があります、その確実性を保証するものではありません。

1

商品値上げによる消費者
の節約志向の継続

2

賃上げを上回る物価上昇
により、実質賃金は
3年連続マイナス

3

メリハリ消費による
購買行動の多様化・
商品の多極化が鮮明に

4

物流2024年問題により
物流需給がさらに逼迫

5

訪日外国人数、消費額が
過去最高を更新*
日本の消費を支える存在に

* 国土交通省観光局「訪日外国人消費動向調査」より

食品流通の枠を超えて、新たな
市場創出に挑戦し続けるとともに、
サプライチェーンの全体最適と
持続可能な社会の実現に向けて
業界をリードする存在を目指します

日本アクセスの
目指す姿

2040年～

2030年
第10次中期経営計画

売上高 3兆円

2027年
第9次中期経営計画

売上高 2.7兆円

2024年

売上高 2.4兆円

現在

ソリューションプロバイダーへ

- ✓ 多様化する消費者ニーズ、厳しいコスト環境への変化対応
- ✓ マーケティング力による新たなマーケット、需要の創出
- ✓ 価格競争に負けない付加価値のあるサービス提供
- ✓ 将来に向けた成長投資
- ✓ 食品総合卸No.1の事業規模と収益基盤構築



変革と挑戦を「実践」し続け、
お取引先様や社会が抱える課題に対して、
マーケティング力とデジタル、さらに強みである
ロジ機能を活用して課題解決提案を行う
「ソリューションプロバイダー」を目指します

3つの基本方針

成長・差別化戦略

- 多様化する消費者ニーズ、加速する業界再編への変化対応
- データ分析に基づくソリューション提案、潜在需要を顕在化させる取組の推進
- 小売業様、メーカー様、外食企業様の海外進出を当社がリード

生産性改革

- 最適物流の構築、利益改善・生産性向上
DX推進・新物流システム展開

経営基盤改革

- 人財育成、エンゲージメント向上、
経営管理の高度化、SDGs取組推進

	2025年度	2027年度 ※中計最終年度	中計期間 25年度差
売上高	24,700億円	26,500億円	1,800億円
経常利益	326億円	354億円	+ 28億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	222億円	235億円	+ 13億円
3カ年投資 (計画)			累計600億円

物流拠点やシステムなど将来に向けた積極的な投資を計画

心に届く、美味しさを



ACCESS

日本アクセス